令和７年３月７日

対バルバドス草の根・人間の安全保障無償資金協力
「路上生活者支援施設兼防災シェルター整備計画」
贈与契約署名式

（左から）マーク･フランクリン国民強化･高齢者問題省副事務次官、宮坂祐介特命全権大使、
キマール･サファリーバルバドスホームレス支援同盟代表、仲村秀一朗二等書記官

2025 年 3 月 7 日、首都ブリッジタウン市内のバルバドスホームレス支援同盟が運営する施設内にて、対バルバドス草の根・人間の安全保障無償資金協力「路上生活者援施設兼防災シェルター整備計画」の贈与契約署名式が行われました。贈与契約に宮坂大使とバルバドスホームレス支援同盟代表が署名を行い、82,963 米ドルを限度額とし、同施設の女性寮の改修及び資機材供与が行われる予定です。

宮坂大使は挨拶の中で、草の根無償資金の目的に触れつつ、この支援を通してバルバドスが直面している女性路上生活者及び帯同する子供の増加という社会課題への対処に貢献できることをうれしく思うと述べました。
また、本件事業は 2016 年に在バルバドス日本大使館が開館して以来初となる初の草の根・人間の安全保障無償資金協力であり、WPS（女性･平和･安全保障）、防災を推進する取組であると、その意義を強調しました。

本件事業は、首都ブリッジタウンに所在するバルバドスホームレス支援同盟が運営する路上生活者支援兼防災シェルターの女性寮を改修し、14 の二段ベッド、46 のマットレス及びカーテン、家電製品等を供与する事で、より多くの女性路上生活者の受入れが可能になるだけでなく、施設内のプライバシー向上など施設利用者がより安全にすごせる環境の整備に寄与するものです。この取り組みが、より社会的な支援を必要とする人々への協力の輪をさらに広げるきっかけとなることを期待しています。

本件署名式には、国民強化･高齢者問題省副事務次官、外務･貿易省、報道機関関係者などが出席しました。

（左から）宮坂祐介特命全権大使、キマール･サファリー･バルバドスホームレス支援同盟代表